



2015年7月27日
イオン株式会社

7月28日(火)より第23回世界スカウトジャンボリー いよいよ開幕！ プラチナスポンサー・イオンは参加スカウトに向けてワークショップを実施

イオンは、7月28日(火)～8月8日(土)の期間、山口県きらら浜において開催される世界スカウト機構主催の国際キャンプ大会、「第23回世界スカウトジャンボリー(23WSJ)」においてワークショップを実施し、参加スカウトに向けた教育の場を提供します。

23WSJのプラチナスポンサーであるイオンは、大会に先駆けてボーイスカウト日本連盟が主催した「全国 ORIZURU キャラバン」を、全国のイオングループ店舗において協力・支援してきました。同キャラバンを通じて、皆さまの平和への祈りが込められた至誠の折り鶴は約9万羽にのぼります。これらの折り鶴は、8月6日(木)に開催される平和記念式典で各国代表のスカウトにより広島平和記念公園に納められる予定です。

また、公式ネックチーフに国際フェアトレード認証コットン製品(イオントップバリュ(株)開発)が初めて採用され、会期中、約3万4千人の参加スカウト全員が着用します。

イオンは、これらの取り組みを通じて、23WSJのテーマである「平和」「環境」「開発」について、参加スカウトとともに考えていきます。

【23WSJにおけるイオンの取り組み】

■公式ネックチーフの寄贈

ボーイスカウト日本連盟とイオンの想いが一致し、大会の公式ネックチーフにイオントップバリュ(株)開発による国際フェアトレード認証コットン(セネガル産)製品が採用されました。公式ネックチーフにフェアトレード製品が採用されるのは大会初となります。約2週間にわたる会期中、3万人のスカウト全員が本ネックチーフを常に身に付け、世界の仲間たちと4年に一度の体験を共にしていきます。



※写真は1例です。

■イオンブースにおけるワークショップの実施

期 間：7月30日(木)・8月1日(土)・3日(月)～6日(木)

場 所：会場内サイエンスゾーン

- 実施内容：・「^{さわ}触れる地球」文化人類学者・竹村 真一教授による特別講演
(予定) ※8月3日(月) ①9:15～9:45 ②10:15～10:45の2回
- ・フェアトレードコットンの切れ端を活かしたミサンガづくり
 - ・「全国 ORIZURU キャラバン」の取り組みと原爆の子の像のモデルになった佐々木 禎子さんについてVTRで紹介
 - ・山口県防府市について地元高校生によるPR
 - ・山口県 地域の特産品「かいがらあまのり」の紹介

■「全国 ORIZURU キャラバン」による約9万羽の折り鶴が広島平和記念公園へ

「全国 ORIZURU キャラバン」は、大会100日前である4月19日(日)からイオングループの商業施設を中心に全国47都道府県で順次開催し、平和への祈りを込めて折鶴をつくるコーナーやボーイスカウト活動を体験できるコーナーなど、子どもたちの知見を広げるさまざまな企画を展開してきました。同キャラバンは大会1カ月前の6月28日(日)にイオンタウン防府(山口県)に到着し、本取り組みによりつくられた折り鶴の数は合計約9万羽となりました。これらの折り鶴は、参加スカウトにより大会期間中に広島平和記念公園へ納められる予定です。

【第23回世界スカウトジャンボリー概要】

1. 日 程：2015年7月28日（火）～8月8日（土）
 2. 場 所：山口市阿知須・きらら浜
 3. 主 催：世界スカウト機構
 4. 参加者：世界約150の国と地域から約3万4千人
- ※詳しくはこちら：http://www.23wsj.jp/index_j.html

世界スカウトジャンボリーは、4年に一度、さまざまな国を開催地として世界中からスカウトが集まる世界最大級の国際キャンプ大会です。2015年に山口市阿知須・きらら浜で開催される本大会では、世界約150の国と地域からやってきたスカウトは日本各地に分散してホームステイや日本探訪を行います。日本の最先端の科学技術や日本の伝統 芸能、魅力的な文化、国際的な協働や連携などを体験し、参加者たちは自分との関連性、恩恵、課題などについて認識を深めていきます。日本では1971年以来、44年ぶり2度目の開催となります。

【公益財団法人ボーイスカウト日本連盟について】

ボーイスカウトは世界162の国と地域、3,600万人に広がった世界最大級の青少年運動です。1907年にイギリスで誕生し、日本では、1922年（大正11年）に日本連盟が創設されました。現在では、全国47都道府県に県連盟が設置され、日本連盟と一帯となって青少年の社会教育を全国で推進しています。